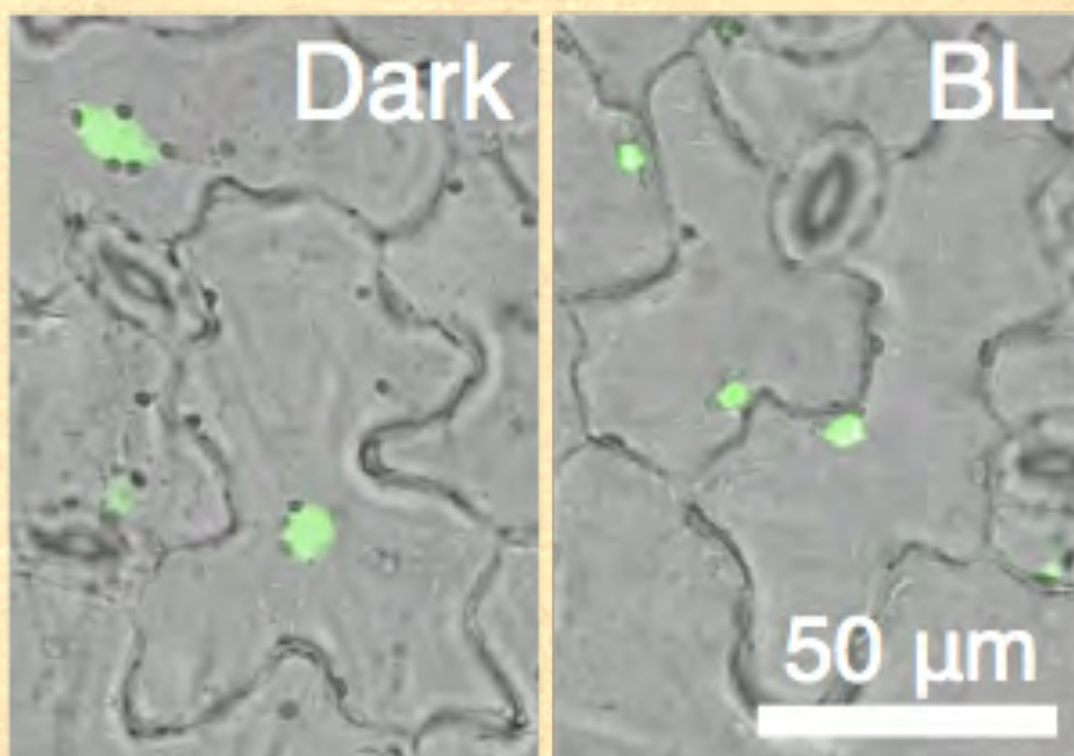


第22回 C-Bioセミナー

プラスチドに依存した 核光定位運動

講演者：比嘉 毅（九州大学理学研究院）



核光定位運動とは、強い青色光の刺激によって核の局在が変化する現象である。シロイヌナズナを用いた過去の研究では、青色光受容体であるフォトトロピン2（phot2）による制御や、運動へのアクチン繊維の関与等が明らかにされているが、詳しい運動メカニズムは不明であった。今回の発表では、核光定位運動と共通点の多い葉緑体光定位運動の変異体を用いた解析等から導かれた、光定位運動を行う葉緑体によって核が運搬される、という新たな核の運動のモデルを紹介する。

日時：2013年7月22日（月）16:10～

場所：ゲノミクス研究棟2F・セミナー室

お問い合わせ先：バイオサイエンス教育研究センター（c-bio@cc.utsunomiya-u.ac.jp）